

製品名: FHL2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87209**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:500, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:32 kDa; Observed MW:32 kDa

抗原情報

遺伝子名	FHL2
別名	DRAL; AAG11; FHL-2; SLIM3; SLIM-3
遺伝子ID	2274
SwissProt ID	Q14192
免疫原	ヒト FHL2 の組み換えタンパク質

背景

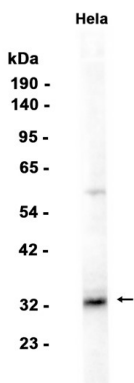
この遺伝子は、4.5個のLIMのみからなるタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。ファミリーのメンバーは、高度に保

存された2つのタンデム配列を持つジンクフィンガードメインを有し、各ジンクフィンガーには4つの高度に保存されたシステインが亜鉛原子と結合しています。このタンパク質は細胞外膜の組み立てに関与していると考えられています。また、この遺伝子は正常筋芽細胞から横紋筋肉腫細胞への形質転換の際にダウンレギュレーションされ、コードされているタンパク質はプレセニリン2と細胞内シグナル伝達経路を繋ぐ役割を果たしている可能性があります。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2016年1月]

研究分野

-

画像データ



FHL2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。